



点滴穿石

校長

【地道な努力】

点滴穿石(てんてきせんせき)とは、小さな力でも根気よく続ければ、大きなことを成し遂げることができるとい意味です。

例として、童話「アリとキリギリス」の簡単なあらすじを紹介します。

『夏のあいだ、キリギリスは自分の食べものである草花はたくさん咲いていたので、ずっと遊んで暮らしていました。そして、キリギリスは、冬にそなえてコツコツと食べものを集めているアリのことを笑っていました。しかし、冬が来るとキリギリスの食べものである草花はなくなってしまい、空腹でさまよっていました。やっとの思いでアリの家にたどりついた空腹のキリギリスは、アリを笑ったことを謝り、ごはんを分けてもらいました。』

さて、大久保小学校の児童の皆さん、今を明るく楽しく過ごすことは、とてもいいことです。でも、今のことだけではなくて、少し先のことまで考えながら生きることも大切なのです。「アリとキリギリス」のアリのように、準備していればつらい冬も楽しく乗り切れるかもしれませんが、準備をしていないと考えもしなかった大変さを味わうかもしれません。

また、コツコツと真面目にがんばることは、とても素晴らしいことです。そして、がんばっている人を笑うこと、これはまちがいなく、とても格好悪いことです。がんばっている人のことを笑わずに、「自分もがんばろう」と思えることが良いでしょう。

コロナ対策のため、学校では自由な活動が制限されていますが、児童の皆さんは本当によく頑張っています。今はつらい冬のような時期ですが、必ず、明るい春がやってきます。それまではアリのように、できることをコツコツと頑張りましょう。